



風水害時の避難

多くの市民が安全な場所に避難するために

地域の共助による取り組みや協力が必要です。

高齢者や障害のある方、外国人などの要配慮者は、「一人で避難することが難しい」「避難情報が受け取れない・理解できない」などの問題が生じることが考えられます。このような方々を安全な場所へ避難させるために、ご近所や地域の方々には避難行動への協力(共助)をお願いします。

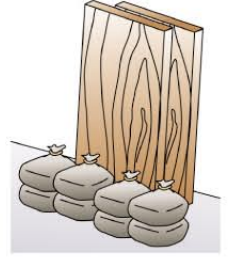
◆日頃から親交を深めましょう

日頃から要配慮者の方々と顔をあわせておきましょう。
※避難時や緊急時の対応も安心かつスムーズに行えます。



◆支援方法を検討しましょう

移動が困難な方の避難支援には車両の使用を検討するほか、支援に役立つ資器材などを用意しておきましょう。



◆避難の際にはご近所に一声かけましょう

避難する際は、近所の人に「一緒に避難しましょう」と声をかけましょう。
※あなたの一声をきっかけにして避難を決断できる人がいます。



◆要配慮者の方々に手を貸しましょう

一緒に避難することで、要配慮者の方々も落ち着いて行動できます。
不安を取り除くように、声をかけながら避難しましょう。



土砂災害(がけ崩れ)に関する防災情報

土砂災害(特別)警戒区域

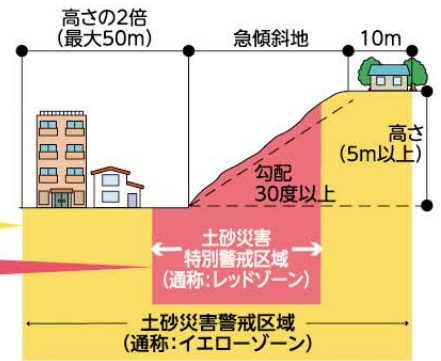
市内にある24箇所の斜面(急傾斜地)が指定されています。

土砂災害警戒区域(通称:イエローゾーン) 土砂災害のおそれがある区域

市民の生命・身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域。
ハザードマップによる周知や避難情報の伝達など警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)
建物が破壊され、人命に大きな被害が生じるおそれがある区域

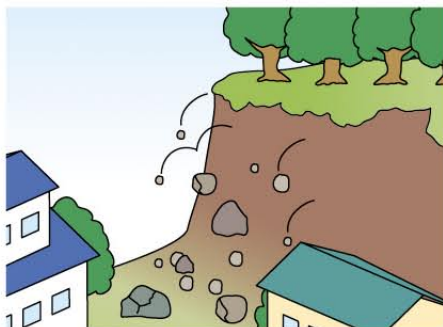
建築物に損壊が生じ市民の生命・身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域。
特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制、移転勧告などが行われます。



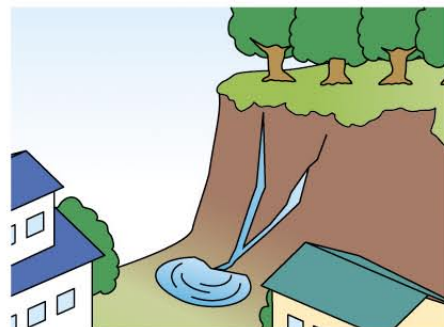
予兆現象と危険度を確認

土砂災害の危険性を感じたら、避難情報の発令を待たずに避難してください。

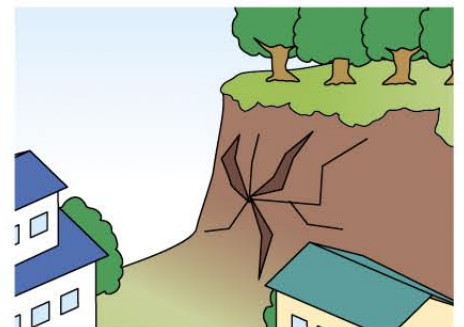
◆土砂災害の予兆現象



●がけから小石がパラパラと落ちてくる



●がけから水が湧き出している



●がけに割れ目が見える